

内之浦小学校安全マップ

本校で、これまでに出された危険箇所を一覧にまとめました。子どもが安全に過ごせるように休みの前日には必ず御指導をお願いします。

【内之浦全体図】



- ① <梶脇：水尻川> 水温の差が大きく、また、砂浜の段差が大きい場所。【遊泳禁止】
神田石材・・・機材が置いてあり、遊ぶと危険。
- ① <梶脇> 廃材置き場。ダンプやゴミ収集車等が置いてある。
- ② <砂浜> 満潮時には浜辺がなくなる。また潮の流れも速く、急に海底が深くなるため危険。
- ③ <広瀬川河口> 波が高く水温差があり、非常に危険。【遊泳禁止】
- ④ <港周辺> 船の出入りも多く、また海水の流れが速い。【遊泳禁止】
- ③～④ 現在、工事車両等入ってくるため、危険。
- ⑤ <広瀬川上流> 橋の上から飛びこめる場所があるが、深みがあり事故の時の連絡もできないので子どもだけでは遊泳禁止。
<広瀬川中流・下流> 川の流れが速く、急に深くなっていることがあり、危険。また、中州があり、岸へ戻れなくなるので危険。
- ⑥ <梶脇～小串方面> 交通量が少なく、車がスピードを出していることがある。
現在工事中の場所あり。
- ⑦ <海蔵> 遊泳禁止。
- ⑧ <白木浜> 山からの水が出てくるところが大雨時、注意。
- ⑨ <津房団地入り口> カーブで見通しが悪い。(飛び出し注意)
<津房川(橋)> 階段があり、降りることができるが、草が生い茂っていて危険。
- ⑩ <朽木周辺> 細い道が多く、自転車・歩行者と自動車との接触のおそれ有り。
- ⑪ <馬込周辺> 道路沿いの側溝にガードレールはあるが、大きく深い。
- ⑫ <坂元入り口> 車等の事故多発地帯。

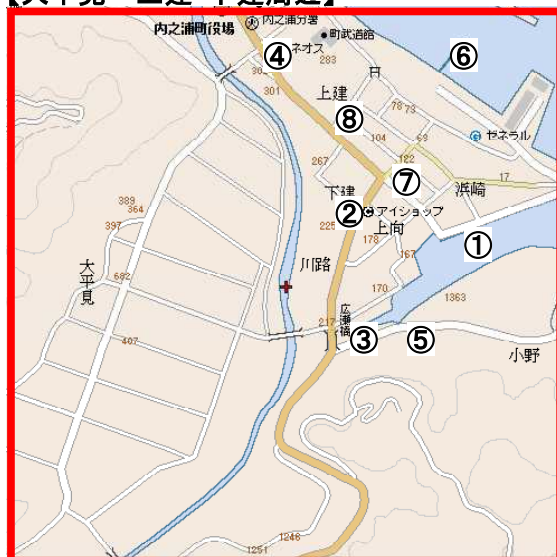
※ 海や川で、子どもだけで遊ぶことは絶対禁止。

【栢木・平牟田周辺】



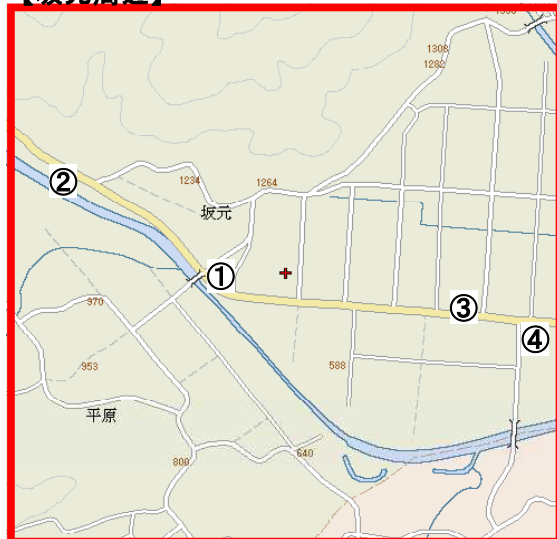
- ① 自転車、自動車の接触事故が多い。
- ② 自転車の飛び出し注意。
- ③ 信号機を確認しないで進入する車有り。【青でも車が止まってから横断を】
- ④ 以前見知らぬ人に名前を聞かれ、手をつかまれたことがある。
- ⑤ 側溝のふたがないところがあり、油断するとはまってしまうことがある。コスモピア側からの車が一旦停止せずに車道に出てくる場合があるので注意。
- ⑥ <広瀬川河口> 【遊泳禁止】大雨の際には流れが速く、危険。
- ⑦ <内之浦橋> 台風や強風時、風にあおられる危険がある。
- ⑧ ダムが2箇所ある。【水遊び禁止】
- ⑨ 旧北方保育所の裏口前は、車がスピードを出すことがあり危険。
- ⑩ 山生産業付近は、建物跡や砂山、大きな石、木材等が置いてあり危険。
- ⑪ 空き地が資材置き場になっており危険。

【大平見・上建・下建周辺】



- ① 潮が引くと道ができる。こけで滑りやすく危険。【遭難のおそれ有り】
 - ② 信号が赤にかわると通り抜ける車が多く危険。
 - ③ <広瀬橋> 強風時、橋を渡るとき注意。
 - ④ 交差点を内回りする車と接触するおそれがある。車側からの見通しが悪い。
 - ⑤ 交通量が多い。車に注意。
 - ⑥ <港内> 遊泳禁止。
 - ⑦ 交通量が多い。車の通行に注意。
 - ⑧ Aコープへ入る道路は、車の出入りが多いので注意。網元付近、廃屋がある。廃屋への出入りは禁止。
- ※ 上町・仲町・下町・浜崎・川路付近は道路に駐停車している車があり、狭いところが多い。(飛び出し等注意)

【坂元周辺】



- ① 十字路を一旦停止しないで通る車があるため、左右の確認をしっかりと行う。【事故が多い】
- ② <広瀬川> 遊泳禁止。
- ③ 見通しがよいため、車がスピードを出すおそれがあるので注意。
- ④ <アイショップ周辺> 車の出入りが多いため、接触のおそれ有り。<アイショップ～ふれあいドーム> 見知らぬ人に声をかけられたことがある。

【叶岳周辺】



- ① 歩道と車道があるので、きちんと歩道を歩かせる。
- ② 見通しが悪く、道を渡るとき車と接触しそうになる場合がある。
- ③ 見通しがよいため車がスピードを出すおそれがある。
- ④ <大平見公民館側の十字路> 公民館側からの飛び出し注意。広瀬橋側からの車が一旦停止せずにわたることがある。
- ⑤ 車からの見通しが悪く、通行する際要注意。
- ⑥ 過去に本校児童が水死したことがある。
- ⑦ <小学校前> 信号機を確認しないで進入する車有り。【青でも車が止まってから横断】

津波発生時の避難経路

正門前横断歩道を横断 → 釈迦堂橋 → 555階段 → 叶岳ボードウォーク



- ※ 釈迦堂橋が崩落していないかの確認後に避難を開始する。
- ※ 釈迦堂橋崩落の場合は、「広瀬川を横切る」ことを判断する場合もある。
- ※ 学校から叶岳ボードウォークまで、全員が15分以内で避難することを目標に訓練する。
- ※ 途中の300段までは、休まず登り続けるようにする。
- ※ 津波の規模が小さい場合は、内之浦総合支所屋上への避難を判断することもある。